

五 親指一指
にて表わ
す。



六 親指に人
差指



七 右二指に
中指



八 七の二指
に薬指



九 右四指に
小指



◎ 四つ珠の算盤の様式と思えばよい。算盤の機の上の珠(五)を親指となぞらえ、機の下の方の四つ珠を人差指・中指・薬指・小指とした心得。
十 (1) 親指と人差指の指頭をつけ合わせて丸く輪をつくる(但し他の三指は伸ばした



まま。
何 指頭を上
さした人差指を
曲げ伸ばしす
る。

二十 「二」を表わした二指を曲げ伸ばし
る。

三十 「三」を表わした三指を曲げ伸ばし
する。

四十↓九十 二十、三十の要領でそれぞれ
表わした指を曲げ伸ばしすればよい。

百 十份に更に中指の指頭を親指の指頭に
つける。

千 「百」に更に薬指の指頭を親指に。

万 「千」にまた小指を。

◎ 千、万の場合、人差指で空間に千域は万
の文字を描くのもよし。